



文化財愛護シンボルマーク

米沢市教育委員会

館山城
↓



▲ 館山城全景

館山城は伊達氏を代表する山城です。縄張図で示すように原型が良好に残っており以前から注目されてきました。米沢市教育委員会では、城の性格や実態の解明に向けて、平成22年度から平成24年度の計画で本格的な調査を進めています。

埋蔵文化財事業

本年度、埋蔵文化財に関する発掘届及び分布調査の依頼は、平成23年2月28日現在で36件です。分布調査によって発掘調査を実施した遺跡は2箇所でした。これらの成果について概要を以下に述べます。

【国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡（羽黒神社）の調査「大字関根字羽黒堂地内」】

羽黒神社本殿保存修理工事に伴うものであり、平成22年7月5日～同年7月12日の期間で実施しました。調査箇所は、本殿基壇を中心に行い、少なくとも3回の改修が行われたことが確認されました。

【国指定史跡米沢藩主上杉家墓所の調査「御廟一丁目地内」】

今回の調査は、史跡米沢藩主上杉家墓所の西側に位置する民家と史跡範囲の間に水道管理設を行うために、平成22年9月15日に実施した調査です。堀と民家が接する90mの範囲に対して、6箇所について調査をしました。その成果に基づいて堀跡を壊さない方法で、立会いながら水道管理設を実施しました。

遺跡の分布状況や範囲確認調査については、昨年に引き続き実施した「戸塚山古墳群」、今年度新たに実施した「館山城跡」の範囲確認調査の2箇所があります。

【市指定史跡戸塚山古墳群の調査「大字浅川地内」】

米沢市の北東部に位置する上郷地区にあります。平成20年度から開始したので、今年度で3年目です。調査期間は平成22年5月10日～同年12月14日で、飯塚北古墳群を対象に実施し、墳丘が消滅した地域にトレンチを設定して実施した結果、2基の古墳を確認することができました。周辺の測量調査によって、少なくとも10数基の古墳の存在を確認しました。また、調査区が広範囲なことから、空中写真撮影も実施し、その際に山頂古墳群についても撮影しました。

それらの成果をもとに、11月23日には「女王の眠る山」と題して地元を対象とした講演会を開催しました。この日は、午後からの日程で、まず現地説明会を開催した後、米沢市立第七中学校に移動しての講演会でした。

【館山城跡の範囲確認調査「赤芝町字向窪」】

調査箇所は、館山城跡南館と命名した館山城跡南側に広がる平坦地で、平成22年7月26日～同年12月24日の期間で実施しました。遺物や遺構の出土が少なく、館山城跡内における当該地区の性格を明確に示すことはできませんでしたが、今後も、周辺調査を継続する予定であり、それらの成果を踏まえて、検討していきたいと思っています。



▲開発に伴う分布調査（田沢地区）



▲公共事業に伴う立会調査（通町地区）



▲大規模開発に伴う分布調査（本町地区）



▲大規模開発に伴う分布調査（松原地区）



▲戸塚山飯塚北古墳群の調査指導風景



▲戸塚山飯塚北古墳群のトレンチ調査



▲館山城南館地区の調査（1）



▲館山城南館地区の調査（2）

一般文化財事業

本年度の一般文化財事業は、継続事業が中心でしたが、一ノ坂遺跡工事など新規事業も実施しました。このうち、特に重点を置いた事業について紹介します。

【国指定史跡上杉治憲敬師郊迎跡（羽黒神社本殿）保存整備事業】

上杉治憲敬師郊迎跡は、米沢藩9代藩主上杉治憲公が師の細井平洲先生を迎えた地として、昭和10年に国の史跡に指定されています。経年による老朽化や近年の豪雪の影響で、建物が急速に劣化したことから保存管理計画を策定し、平成20年度より平成33年度までの14ヵ年計画で保存整備事業を進めています。

本年度は、羽黒神社本殿工事（4ヶ年計画）の3年目で、屋根工事を中心に、屋根の骨組みと茅屋根葺きなどを実施しました。羽黒神社本殿は平成23年度で竣工し、平成24年度から普門院の保存整備に入る予定です。なお、本事業は「広報よねざわ」の「市政クローズアップ」（平成22年11月1日号）でも紹介されました。

【市指定史跡戸塚山古墳群・直江石堤の草刈・雑木除去業務】

戸塚山古墳群は県内最大規模の古墳群であり、将来の保存活用を前提に調査を進めています。また、女性の人骨「置賜の女王」が見つかったことでも知られています。本年度は、本古墳群に関する講演会や発掘調査の現地説明会を開催し、注目を集めました。

直江石堤は平成21年のNHK大河ドラマ「天地人」で全国的に有名となった直江兼続ゆかりの史跡であり、本市の治水・利水の歴史を考える上で、重要な位置を占めます。

ともに本市の重要な史跡であり、史跡保護と維持管理を図るため、昨年度に引き続き史跡の草刈及び雑木除去を実施しました。

【市指定文化財候補「草木塔」の調査・研究】

草木塔は、伐採された樹木を供養する目的で建立された石塔で、置賜地域を中心に分布しています。本市には、江戸時代に建立された草木塔が17基確認されており、そのうちの5基が市の有形民俗文化財に指定されています。

今年度は、未指定である12基の草木塔について、隣接する石塔も含めて調査・研究を進めており、所在や地籍の確認調査を行う等、市文化財指定に向けた取り組みを実施しています。

【市指定天然記念物「吾妻の白猿」の愛称認定】

吾妻の白猿は、昨年度1頭が誕生し、「チッチ」という愛称に決定しました。今年度も白猿会の調査により新たに2頭のメスの白猿が誕生したことが確認され、「広報よねざわ」で愛称を募集したところ、今年度は40件の応募がありました。審査の結果、2頭の愛称はそれぞれ「のぞみ」と「まゆ」に決まり、平成23年3月14日に「白猿愛称認定式」を行いました。

今回の2頭の誕生で、同時期に7頭の白猿の生存が確認されることになり、昭和49年の調査開始以来、最も多い数となっています。

【国指定史跡一ノ坂遺跡チェーンパーテーション設置工事】

一ノ坂遺跡は、国内最大規模の竪穴住居や石器工房跡が発見されるなど、従来の縄文時代のイメージを大きく変えた史跡として知られています。今年度は、擬木を利用したパーテーションが劣化してきたことからすべて撤去し、新たに金属製の支柱とプラスチック製のチェーンによるパーテーションを設置しました。なお、併せて例年通り草刈も行うなど、史跡の環境整備を実施しています。



▲上杉治憲敬師郊迎跡（屋根の骨組完成）



▲同（一般者の説明会）



▲直江石堤



▲草木塔



▲吾妻の白猿（左「まゆ」右「のぞみ」）



▲一ノ坂遺跡

平成22年度 米沢市文化財関係事業

区 分	平成22年度の重点事項	平成22年度の主な事業報告
1. 文化財共通	<ul style="list-style-type: none"> ○事業の記録 ○文化財に関する諮問機関の開催 	<ul style="list-style-type: none"> ・「米沢市文化財年報」No.23の発行 ・平成22年度米沢市文化財保護審議会の開催 (第1回 H22.7.21 第2回 H23.3.25)
2. 埋蔵文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○埋蔵文化財の調査 ○埋蔵文化財の情報収集及び周知 ○報告書の作成 	<ul style="list-style-type: none"> ・舘山城跡南館範囲確認調査 ・舘山城跡保存整備事業指導委員会の開催 ・市指定史跡「戸塚山古墳群」の詳細分布調査 ・戸塚山古墳群発掘調査指導委員会の開催 ・開発事業に際する事前協議及び埋蔵文化財包蔵地における土木事業前の試掘調査 ・米沢市埋蔵文化財調査報告書第100集の作成
3. 一般文化財	<ul style="list-style-type: none"> ○文化財の調査 ○文化財の保護 ○指定文化財保存管理の充実 ○指定文化財環境整備の促進 ○無形民俗文化財後継者の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ・市指定文化財候補「草木塔」の調査・研究 ・国指定特別天然記念物「カモシカ」の保護 ・市指定天然記念物「ホタル」及び同「吾妻の白猿」の保護調査 ・県指定天然記念物「山上の大クワ」の管理 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡(普門院・羽黒神社)」及び同「米沢藩主上杉家墓所」管理に係る補助 ・国指定史跡「上杉治憲敬師郊迎跡」保存修理事業の継続(3年目) ・上杉治憲敬師郊迎跡保存整備検討委員会の開催 ・国指定史跡「一ノ坂遺跡」のチェーンパーテーション設置 ・文化財説明版(昌伝庵)の修復 ・国指定史跡「一ノ坂遺跡」及び市指定史跡「戸塚山古墳群」、市指定史跡「谷地河原堤防(直江石堤)」の環境整備(草刈等の実施) ・県指定無形民俗文化財「梓山獅子踊」保存会への補助

発行 米沢市教育委員会

〒992-0012 米沢市金池三丁目1番14号

教育管理部文化課 文化財担当

TEL 0238-21-6111 内線7530, 7531

FAX 0238-21-6020

E-mail: bunka-ka@city.yonezawa.yamagata.jp